

30 消防用設備等の活用状況

【関連章第8章】

事例2 「共同住宅の廃品置場から出火し、屋内消火栓設備を活用し消火に成功した火災」

出火時分 8月 9時ごろ

用途等 共同住宅 耐火造 36/1 延 36,000 m²

防火管理 該当選任あり 消防計画あり

被害状況 建物ぼや1棟 バッテリー3個、充電器2個等焼損

概要

この火災は、共同住宅の地下1階にある廃品置場から出火したものです。

出火原因は、充電中のバッテリーが何らかの要因によりセル内部で短絡し出火したものです。

建物内で勤務していた清掃員は、廃品置場から退室する際に「ポン」と破裂するような音が聞こえ、確認すると、廃品置場内で煙が出ているのを発見しています。火災を発見後、管理人及び周囲の清掃員に火災を知らせ、知らせを受けた清掃員は廊下に設置してあった屋内消火栓設備を使用し初期消火を実施しています。

また、建物内では自動火災報知設備も鳴動しており、防災センターの職員は、受信盤で地下1階の火災表示を確認したため、モニターで状況を確認すると、煙と炎が発生していたため119番通報を実施しています。

教訓等

この火災は、出火場所にいた清掃員が屋内消火栓設備を使用することで消火に成功し、延焼拡大を防いでいます。また、自動火災報知設備が鳴動することで、早期に防災センター職員による119番通報に繋がっていることから、建物内に設置してある消防用設備等が有効に活用された結果だと考えられます。

万が一の火災の時には、消防用設備等を有効に活用できるよう、自衛消防訓練等を通じて、日頃から訓練を行うことが重要です。また消防用設備等は、法令で定められた定期的な点検を実施することで維持管理に努め、不備等があれば早急に是正し、適正な維持管理に努めましょう。



写真 30-3 焼損したバッテリーの状況



写真 30-4 延長した屋内消火栓設備の状況